

2012年2月23日

マーケットトピックス

本日のトピックス

- ・ドル円 80円台へ
- ・本日のおまけチャート ギリシャ・金

【ドル円 80円台へ】

日銀の金融緩和政策発表後、するすると上昇を続けていたドル円、この日はさしたる抵抗もなく、とうとう80円台を確保。

(図1:ドル円 日足)



(出所:ブルームバーグ)

一方的なこの動きにマーケットではステルス介入が行なわれているのではないか、との声も聞かれ始めた。

金融緩和政策の発表以降、金利市場では様々な変化が現れている。

まずは日銀が買い入れている2年債の利回り。

図2が、その利回りの動きであるが、当然、日銀の発表以降そのレンジ帯が下に移動している。

(図2:日本2年債利回り 日足)



(出所:ブルームバーグ)

しかし、日銀が購入の意思を示しているわけではない5年債の利回りも低下中。

図3が、日本5年債利回りの推移であるが、同じタイミングで下に抜けている。

(図3:日本5年債利回り 日足)



(出所:ブルームバーグ)

これは、現在1-2年の短期物で購入している日銀であるが、そのうち、購入枠を消化しきれなくなり、年限の長いものへ購入枠をひろげなければならなくなるとのマーケットの見通しを反映している。

それに伴って、2-5-10のバタフライスプレッド、(5年物の価格を2倍、それに2年物と10年物の価格を足した数値を引いたスプレッド)も低下傾向へと変化を始めている。
 これはマーケットが、今後更なる金融緩和を見越していることを指し示す。
 世界中で広がる金融緩和ラッシュに日銀も再参加を始めたことも、現在の円売りを後押ししている。
 (図4: 日本2-5-10バタフライスプレッド)



(出所:ブルームバーグ)

【本日のおまけチャート ギリシャ・金】
 追加支援の決まったギリシャ。それにもかかわらず、その1年債の売りは加速。
 金利は750%を越えた。1日で100%以上上昇という異常な値動き。
 マーケットのギリシャへの見方が明確に示されているチャートである。
 (図5: ギリシャ1年債利回り)



(出所:ブルームバーグ)

金、急騰。
NY時間13時ごろ、それまで静かであった金、突如として上昇。
アルゴによる買いにより、20ドル近く上昇。
再び投機資金が活発にマーケットに徘徊を始めている様子。
(図6:金 3分足)



(出所:ブルームバーグ)

提供:SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。